

**歴史文化保存展示施設専門検討委員会 第4回展示部会
意見要旨《発言順》**

| 議題(1)常設展示の主な展示手法について | | |
|----------------------|----|--|
| No. | 内容 | |
| 1 | 意見 | 歴史文化保存展示施設では、子どもたちをターゲットとして、歴史系の展示をすることになる。通常、歴史系の展示は、子どもや歴史に興味のない人は1回きりしか来館しない傾向にあるので、従来の歴史系展示の問題点を整理しておく必要がある。 |
| 2 | 意見 | 今回の資料は、今までの活用部会における議論も経てのものと思うので、それも踏まえて回答をお願いします。 |
| | 回答 | 活用部会の議論では、メインターゲットとして児童と生徒、付随して乳幼児や保護者、高齢者等を想定している。 歴史系展示の課題としては、動きがなく、退屈であることが挙げられる。また、展示品を並べるだけで価値が示せていなく、展示品と見る人を結び付けられていないことがある。 今回の展示案においては、来館者が興味を引くよう、また展示品を自分事として結びつけられるような誘導やサポートしたいと考えている。 |
| 3 | 意見 | 従来の情報だけを提示する一方的な展示ではなく、相互的・双方向的な展示が求められる。 |
| 浜田の大地・古代浜田の形成 | | |
| 4 | 意見 | 浜田の大地の展示は、常設展で最初に目につくところである。内容はいいと思うが、資料にある写真の白色の造形だと、寒々としそうである。 |
| | 回答 | 資料の写真は、議論の土台として提示したものである。白色なのは、プロジェクションマッピングのためである。ジオラマとするなら、彩色も可能である。 |
| 5 | 意見 | 長浜台地の黄長石霞石玄武岩は、世界的にも珍しく、学術的にも重要であり、内容に入れるべきである。 石見壘ヶ浦と黄長石霞石玄武岩では、時代も違うと思うので、イラストや映像を用いたほうが説明できると思う。 |

| | | |
|---------------------|----|---|
| 6 | 意見 | 地質学という学問的な面からの展示のみではないほうがよい。石見の風景については、柿本人麻呂や司馬遼太郎の記述もある。導入部分でもあるので、このような人物の目線を入れてみれば、興味を引く展示になろう。 |
| 7 | 意見 | 大崎鼻には侵蝕面が残っており、浜田における海水面の変化がわかる。浜田の大地の形成を示す好資料である。 |
| 8 | 意見 | 「石見」の地名の由来と浜田の大地が繋がるならば、それを展示に取り入れれば興味を引く内容になる。 |
| 9 | 意見 | 黄長石霞石玄武岩などの項目については、以前の資料にあるとおり、内容に織り込んでいる。 「石見」の由来は、江戸時代の資料によると、岩や海から見た景色などと書かれており、浜田の大地と繋がると思う。 |
| 10 | 意見 | 映像は1か所にまとめて、シアター形式にする方法も考えられる。また、市全体の地質図が示せれば、近世のたたらへの理解にも繋がる。 |
| 11 | 意見 | 最初に大型模型を置くよりは、映像やイラストなどを用いて、柔らかく展示が始まるほうがよい。 |
| 12 | 意見 | 古代浜田の形成では、小学生に対しては、縄文時代・弥生時代の生活スタイルのイメージができた上で、浜田地域の説明をするほうがよい。多くの展示品は必要ではなく、簡単明瞭な展示がよい。日脚遺跡では、縄文時代早期の集石炉が検出されており、縄文時代の生活のイメージが湧く素材となる。 |
| 13 | 意見 | 次の弥生時代には鱈石遺跡があり、集落が高地から低地に移動する様子がわかる。 |
| 14 | 質問 | 日脚遺跡の遺物は展示できないのか。日脚遺跡出土の石製のペンダントなどは、縄文人の美の意識を示す資料である。 |
| | 回答 | 島根県に借用申請をすることはできると思う。今回の展示案では、浜田市所有物を前面に出しながら組み立てている。 |
| 15 | 意見 | 〇〇式土器などが並んでも一般の人はわからない。グラフィックなどにより、その展示品がどのように使われたなどの具体的なイメージができる展示がよい。 |
| 古代石見の中の浜田・中世浜田の領主たち | | |
| 16 | 質問 | 古代石見の中の浜田においては、石見国分寺跡や石見国分 |

| | | |
|-----------|----|---|
| | | 尼寺跡などの資料はあるのか。 |
| | 回答 | 瓦はたくさんあるが、完形品の土器類は少ない。市指定文化財の銅像誕生釈迦仏立像はメインとなり得ると思う。また、この時代は、小学校において「ふるさと浜田のあゆみ」で最も扱われており、浜田を全国の中で位置づけることができる。 |
| 17 | 意見 | 古代寺院は現在のお寺とイメージが大きく異なるので、古代寺院のイメージを示せる手法がよい。 中世では、周布氏と朝鮮王朝との交易については、交易の経緯も含めて取り入れたほうがよい。 |
| 18 | 意見 | 浜田における災害の展示があってもいいのではないか。江戸時代や昭和の水害、浜田地震などがある。 |
| 19 | 意見 | 災害については、国分寺建立の経緯で触れることができるかもしれない。 |
| 20 | 意見 | 各展示の時代背景も、文字でいいので説明したほうが理解しやすい。 |
| 21 | 意見 | 中世浜田の領主たちでは、御神本氏、益田氏の内容から展示すべきである。また南北朝期の合戦についても、日本の全体の歴史に絡むので、入れてほしい。 |
| 22 | 質問 | 日本の歴史に関しては、各展示箇所ですぐ、補足資料として説明したほうがいいのか整理をしたい。 |
| | 回答 | それでよいと思う。 |
| 23 | 質問 | 浜田市所有物以外で重要なものはレプリカ作成するのか。 |
| | 回答 | 市所有物であっても破損しやすいものもあり、展示手法の一つとして検討していく。 |
| 城下町としての浜田 | | |
| 24 | 意見 | 浜田城は浜田の町の原点である。城があった時代と今とが比較できる、変遷が追える展示が必要であり、子どもたちの興味を引く。 |
| 25 | 質問 | 単に城下町を復元するだけでなく、そこでの経済活動の示す展示は行うのか。また、浜田城が築かれる前の状況も示す必要がある。 |

| | | |
|----|-------|---|
| | 回答 | 経済活動を示すものとして、古文書があるが、古文書を展示しても理解は難しいと思う。展示手法の工夫が必要である。 |
| 26 | 質問 | 城下町としての浜田では、城下町鳥瞰絵図をアニメーションで示せればと考えている。また、浜田城のジオラマは必要であろうか。 |
| | 回答 | 浜田城のジオラマに関しては、はっきりとわからないのであれば、作らないほうがいい。 国絵図は、石見全体のことわかり、活用が望まれる。 |
| | 意見 | 国絵図は大きい資料であるため、映像等を検討したい。実物を展示するなら、企画展示が考えられる。 |
| 27 | 意見・質問 | 松江では、町人の日記を基に城下町の暮らしぶりを再現した展示がなされている。城はもちろんだが、城下町の暮らしも必要であり、アニメーションも交えて展示がなされるとよい。城下町の暮らしは、近代以降の浜田と関わることである。それらがわかる資料はあるのか。 |
| | 回答 | 城下町の暮らしについては、役用帳に記述があることは確認している。 |
| 28 | 質問 | 港の展示については、どのように考えているのか。港がどのように機能しているかが示せればよい。 |
| | 回答 | 海岸絵図と客船帳が基本になると考えている。 |
| 29 | 意見 | 浜田町史掲載の天保年間の城下町の図などが展示できれば、家臣などの住まいが探せて面白い。ただ、個人名が含まれるので難しいかもしれない。 |
| | 回答 | 素材としては複数の城下町絵図がある。ただ、城下町絵図の情報をどこまで提示するかは判断が必要となってくる。 |
| | 意見 | 町の変遷を示すことは重要である。江戸時代の城下町、連隊の転営、鉄道の敷設など、どのように町が発展してきたかを順序で示すと、子どもたちの関心を引くと思う。 |
| 30 | 意見 | 城下町については、ミニチュアではなく、城下町絵図を用いた映像等による展示手法がよいと思う。 |
| 31 | 意見 | 浜田城は市民のシンボルであると思う。浜田城のジオラマは、浜田城を知りたいと思う人が多ければ、歴史文化保存展 |

| | | |
|---------------------|----|--|
| | | 示施設か浜田城資料館において必要になると思う。 |
| 32 | 質問 | 常設展示のメインは近世と考えているのか。 |
| | 回答 | 講座などを開いても近世の関心は高い。城や城下町のほかにも、幕長戦争や北前船のテーマもあり、常設展示のメインと思っている。 |
| 浜田県の成立と近代化・浜田の発展 | | |
| 33 | 意見 | 近代以降について。浜田郷土資料館において、連隊関係の資料が少ないとの声が聞かれる。連隊の展示は必要と考えられ、資料も浜田郷土資料館にたくさんある。 |
| 34 | 意見 | 浜田の発展に欠かせないのは、浜田港の整備、高速道路の開通、浜田駅前開発である。 |
| 35 | 意見 | 意見が挙がっているのは浜田地域のことであり、他地域についても、資料の掘り起こしが必要となってくる。 |
| 36 | 質問 | 近代以降の映像はあるのか。 |
| | 回答 | 視聴覚ライブラリーが作成したものがある。これが活用できればと考えている。 |
| 37 | 意見 | 「軍都」という表現が気になっている。誤ったイメージを与えるのではないか。 |
| | 回答 | 近年、軍都に関する研究が進んでおり、それからしても、誤った表現ではないとは思っている。 |
| 38 | 意見 | 底引き船の衰退についても、触れることが必要ではないか。 |
| 39 | 意見 | 発展のみだけでなく、衰退を含めて幅広く取り扱ってほしい。 |
| 40 | 意見 | 年表を一括で展示するか、各分野の場所で分割して展示するかは、スペースの問題もあり、全体の展示状況を見て判断するほうがよい。 |
| 暮らしのうつりかわり・浜田を築いた人々 | | |
| 41 | 意見 | 暮らしのうつりかわりは、展示室の中央であり、内容的にも多いため、煩雑にならないように注意する必要がある。民具も山間部・海岸部を合わせると多数になるため、入れ替え |

| | | |
|----|----|--|
| | | るなどの工夫が必要となる。部屋の中央はシンプルにすべきで、そうしないと展示全体が煩雑に見えてしまう。 |
| 42 | 質問 | 現在の市内各資料館にあるような、昔の部屋を復元したような展示は必要か。 |
| | 回答 | ある昔の家の部屋をそのまま移築して展示するなら、意味はある。様々なところから民具を集めて、昔の部屋の状況を復元することには、余り意味はない。 |
| | 質問 | ミニチュア模型で再現するのはよいか。 |
| | 回答 | それはよいと思う。 |
| 43 | 意見 | 今の子どもたちにとって、民具はどのように使うものかのイメージもできない。実物を見てもらうことはもちろんだが、使い方を理解してもらえる展示をすべきである。 スペースがあれば、実際に触って使ってもらえる展示があってもよい。 |
| 44 | 意見 | どの時代を扱うのか、どの民具を展示するのかの検討も必要となってくる。 |
| 45 | 意見 | 偉人の展示に関しては、展示スペースと選ぶ偉人によって手法は変わるとされる。偉人に関しては、様々な価値観があり、人によりニーズは異なる。様々なニーズに応えられるように、関係書籍を置くなどの工夫も必要であろう。 |
| 46 | 意見 | 人物の入れ替えが可能な展示手法を考えていきたい。 |
| 47 | 意見 | 議論は尽きないが、時間になった。次回以降ご意見をいただきたい。 |